



2024 年度事業報告

自：2024 年 7 月 1 日

至：2025 年 6 月 30 日



1. 事業の概況

一般社団法人ジャパンバレーボールリーグは、2030年度に世界最高峰のリーグを目指す「V.LEAGUE REBORN」の達成に向け、2024-25 シーズン 2024年7月1日より、一般社団法人 SVリーグと改称し、スタートを切りました。

これまでの V.LEAGUE DIVISION1/2/3 とカテゴリ化されたリーグ編成から、DIVISION1 クラブを中心とし、SVリーグライセンスを交付された WOMEN14 クラブ、MEN10 クラブ合計 24 クラブ編成となり、SV.LEAGUE として、「世界最高峰のリーグを目指す～GO FOR 2030～」のスローガンのもと、スタートいたしました。

以下、2024年度事業年度の概況を取りまとめご報告いたします。

2024年7月1日に開催した臨時社員総会において、代表理事候補たる理事として、大河正明氏の選任を行うとともに、「役員報酬ならびに費用に関する規程」の制定、「役員報酬総額」を発議し、承認されました。

臨時総会後の臨時理事会において、國分裕之氏の代表理事の辞任と大河正明氏の代表理事への就任について承認されました。

9月30日には、2024年度定時社員総会を開催し、役員の変更を発議し、荒木絵里香氏、江川剛司氏、金川裕一氏、刈屋富士夫氏、久保田剛氏、杉山明美氏、高田春奈氏、玉上進一氏を理事として、中村克己氏、矢野奈保子氏を監事として選任を行い、それぞれ、理事及び監事就任も併せて承認されました。また、従来の東京都中央区から東京都千代田区へ主たる事業所を移転したことに伴う、定款の改正を発議し、承認されました。

定時総会に引き続き開催された臨時理事会において、大河正明氏の代表理事チェアマンへの就任および江川剛司氏の業務執行理事への承認が行われ、新たな執行部体制でのスタートとなりました。

さらに同日、SV.LEAGUE 開幕に向けた記者会見が TOKYO NODE (東京都港区)において開催され、参戦の全クラブ(メッセージ VTR 出演含む)男女計 24 選手が参加し、開幕に向けた華々しいイベントを成功裏に終えることができました。

10月11日(金)に東京体育館において、サントリーサンバーズ大阪対大阪ブルテオンの対戦を開幕ピックアップゲームとして開催し、SV.LEAGUE の門出を飾りました。

オールスターゲームも 2025年1月にとり野菜みそ BLUECATS ARENA (石川県かほく市)で開催するなど、興行面においても充実した運営を実現することができました。

経営面では、タイトルパートナーとして大同生命保険株式会社様、プリンシパルパートナーとして株式会社リクルートスタッフィング様、そしてトップパートナーとして株式会社三菱 UFJ 銀行様をはじめ多くの協賛社のご協力をいただき、放送配信においては、Jスポーツとの契約締結により、収入基盤の構築をはかり、新リーグ初年度としての初期投資も含み、リーグ収益 30 億円以上、観客動員数 120 万人を達成目標として、169 百万円の黒字予算を計画しました。その後も、多くの協賛契約をいただき、主管興行においても多くのファンの来場による増収をはかるとともに、コストの抑制にも努力を重ねてまいりました。

アジアバレーボール連盟からの要請もあり、日本バレーボール協会との共催による「AVC MEN'S



CHAMPIONS LEAGUE JAPAN 2025」を5月に開催しました。準備、宣伝に十分な時間を割けなかったこともあり、協賛、入場料収入の見込みが厳しく、赤字興行となったものの、年度を通しての実績は、予算に対しても増収増益となり、最終的に当初予算を大幅に超える386百万円の利益を計上することができました。

また、内閣府に対して、公益法人認定の申請を3月に実施。3か月にわたる審査の結果、7月1日付けでの公益社団法人認定を承認され、新年度より公益社団法人としてスタートいたしました。

更に、2026-2027シーズンより、SV.LEAGUEクラブの完全プロ化の実現と、SV.LEAGUEを目指す競技環境の裾野の拡大を目的とし、現在のV.LEAGUEを再編し、SV.LEAGUE GROWTHの新設をすることを、組織決定いたしました。

新年度は、新たなリーグ体制の構築に向け、準備を進め、SV.LEAGUEとSV.LEAGUE GROWTHとして出発する、それぞれのリーグをより魅力あるリーグとする為、費用削減に努めることはもちろんのこと、収益の大幅な増加が必須の状況であり、スポンサーセールスの強化等による収益増を図るとともに、「V.LEAGUE REBORN」の成功により、リーグの価値を高め将来にわたり、安定運営できるよう取り組んでまいります。引き続きご協力の程、お願いいたします。

以下、事業内容を、詳述いたします。

2. 事業内容

(1) SV.LEAGUE WOMEN

2024-25 大同生命 SV.LEAGUE WOMEN は、新たにヴィクトリーナ姫路、群馬グリーンウイングスの2クラブを加え14クラブの参加により、2024年10月12日にとどろきアリーナ(神奈川県川崎市)で開催された NEC レッドロケッツ川崎対埼玉上尾メディックスを開幕ゲームとしてスタートしました。

今期より、14クラブ総当たりによるホームアンドアウェー方式とし、レギュラーシーズン308試合と、上位8クラブによるチャンピオンシップを、3戦2勝先勝方式で開催しました。

レギュラーシーズンは、大阪マーヴェラスが優勝を飾りました。最終節まで、チャンピオンシップ進出を懸けた順位争いが続き、優勝した大阪マーヴェラスをはじめ NEC レッドロケッツ川崎、SAGA 久光スプリングス、デンソーエアリービーズ、埼玉上尾メディックス、ヴィクトリーナ姫路、東レアローズ滋賀、Astemo リヴァーレ茨城の上位8クラブが、トーナメント方式のチャンピオンシップに進出しました。

クォーターファイナルを4月18日～21日に、セミファイナルを25日～27日に、それぞれ各上位クラブのホームゲームとして開催し、大阪マーヴェラスと NEC レッドロケッツ川崎がファイナル出場を果たしました。

ファイナルは、5月2日から4日の予定で、有明アリーナ(東京都江東区)において開催いたしました。試合結果については、大阪マーヴェラスが2勝0敗(3-0、3-0)で連勝し、SV.LEAGUE WOMEN 初代チャンピオンの座に輝きました。

女子の総試合数は昨年度に比較し、大幅に増加しましたが、各チームの努力と都道府県協会のご協力により、全ての試合を無事円滑に開催することができました。観戦入場者数をみると、チャンピオンシップも含めたシーズン合計で、400,940人(対前年比266,947人増)となりました。



しかしながら、レギュラーシーズンのクラブ 1 試合当たり平均入場者数は、1,237 人(対前年比 526 人減)となり、目標としていた 1,500 人に届かず、集客力に課題を残す結果ともなりました。

(2)SV.LEAGUE MEN

2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN は、前年度までと同様に 10 クラブの参加により 2024 年 10 月 11 日に東京体育館(東京都渋谷区)で開催されたサントリーサンバーズ大阪対大阪ブルテオンを開幕ゲームとしてスタートしました。

10 クラブによるホームアンドアウェー方式とし、レギュラーシーズン全 220 試合と上位 6 クラブによるチャンピオンシップを、3 戦 2 勝先勝方式で開催しました。

レギュラーシーズンは、大阪ブルテオンが優勝を飾りました。最終節まで、チャンピオンシップ進出を懸けた順位争いが続き、優勝した大阪ブルテオンをはじめサントリーサンバーズ大阪、ウルフドッグス名古屋、ジェイテクト STINGS 愛知、東京グレートベアーズ、広島サンダーズの上位 6 クラブが、トーナメント方式のチャンピオンシップに進出しました。

クォーターファイナルを 4 月 18 日～19 日に、25 日～27 日にセミファイナルをそれぞれ各上位クラブのホームゲームとして開催し、サントリーサンバーズ大阪とジェイテクト STINGS 愛知がファイナル出場を果たしました。

ファイナルは、5 月 3 日に有明アリーナ(東京都江東区)、5 日～6 日は「LaLa arena TOKYO-BAY(千葉県船橋市)の予定で開催いたしました。試合結果については、サントリーサンバーズ大阪が 2 勝 0 敗(3-2、3-0)で連勝、SV.LEAGUE MEN 初代チャンピオンの座に輝きました。

男子の総試合数も女子同様に昨年度比で増加しましたが、各クラブの努力と都道府県協会のご協力により、全ての試合を無事円滑に開催することができました。観戦入場者数をみると、チャンピオンシップも含めたシーズン合計で、721,770 人(対前年比 319,500 人増)となり、1 試合当たり平均入場者数も、3,125 人(対前年比 939 人増)となり、目標としていた 3,000 人を超える実績となりました。これは、海外リーグのセリア A(イタリア)やプラスリーガ(ポーランド)の 24-25 シーズン実績も上回る集客実績ともなりました。

(3)オールスターゲーム

2025 年 1 月 25 日(土)、26 日(日)に、SV.LEAGUE 初となるオールスター「MUFG SV.LEAGUE ALL STAR GAMES 2024-25 ISHIKAWA」を開催しました。今大会は「能登とともに。」をスローガンに、とり野菜みそ BLUECATS ARENA(石川県かほく市)で行われました。

25 日に行われた WOMEN の試合には 2,484 人、26 日に行われた MEN の試合には 2,741 人が来場。週末を通して試合以外にも多くの被災地支援イベントを行い、本大会の収益の一部と令和 6 年能登半島地震の復興支援としてリーグ・クラブが実施した募金を合わせた総額 2,000 万円を石川県に義援金として寄付しました。

(4) その他の試合等

① 2024 V・サマーリーグ(女子大会)

2024 V・サマーリーグは東西 2 箇所に分かれ、西部大会は、2024 年 6 月 28 日～6 月 30 日に熊本県立総合体育館(熊本県熊本市)で、東部大会は 2024 年 7 月 5 日～7 月 7 日にとり野菜みそ BLUECATS ARENA(石川県かほく市)にて東西各 13 チームの合計 26 チームが参加しました。西部大会はクインシーズ刈谷が優勝、東部大会は PFU ブルーキャッツ石川かほくが優勝しました。

SV.LEAGUE および V.LEAGUE として新たなスタートを切ることに伴い、本大会をもって、昭和 56 年以降 43 回にわたり開催してまいりました V・サマーリーグは幕を閉じることとなりました。

大会を通じてたくさんのご声援をありがとうございました。

② SV-V.LEAGUE U15 選手権大会

これまで、Vリーグジュニア選手権大会として開催してきた大会を、世界最高峰を目指す SV.LEAGUE と地域密着の V.LEAGUE への再編により「SV-V.LEAGUE U15 選手権大会」と名称を変更し、初の U15 選手権として開催されました。

当初は 8 月に予選大会、10 月に本戦を予定していましたが、台風 10 号の接近により、関係者の安全などを考慮して延期。2024 年 10 月 5 日(土)・6 日(日)の 2 日間で全日程を行いました。

相模原ギオンアリーナで行われた女子大会には 24 チームが参加し、アイシンティルマーレ碧南のジュニアチームであるティルマーレジュニアが昨年に続き優勝、連覇となりました。また埼玉上尾メディックス Jr. はオリンピックの松田明彦氏、NEC レッドロケッツ川崎 U15 は元日本代表の竹内実氏が監督を務めるなど、世代間の連携も見られ、競技のさらなる普及への可能性を感じる大会となりました。

近畿大学記念会館で行われた男子大会には 22 チームが参加し、ウルフドッグス名古屋 U-14 が優勝。前身の大会と合わせると 5 大会連続の優勝を果たしました。

女子大会は出場選手数 503 人、累計観戦者数 780 人、男子大会は出場選手数 525 人、累計観戦者数 870 人となりました。

若い選手たちの健やかな育成を目指し、両日には保護者を対象に、計 4 回の食育講座も開催しました。「試合前後の補食の摂り方の参考になりました」「普段の生活でためになる食事のコツなど、大変分かりやすい資料でした」という声がある一方、試合時間と講座が重ならないスケジュールの工夫や、事前 PR 強化でさらに多くの方々の参加を募るなど、次回以降もさらなる改善を行っていきます。

③ FIVB 世界クラブ女子選手権大会 2024

2024 アジアクラブ選手権大会を制した NEC レッドロケッツ川崎が、2024 年 12 月 6 日～12 月 10 日に中国/杭州(参加 6 チーム)にて開催された FIVB 世界クラブ女子選手権大会 2024 に、日本代表として参加しました。予選リーグを 1 勝 2 敗の成績で終え、残念ながら予選敗退となりました。



④ AVC MEN'S CHAMPIONS LEAGUE JAPAN 2025

日本バレーボール協会との共催により「AVC MEN'S CHAMPIONS LEAGUE JAPAN 2025」を開催しました。本大会は、アジアバレーボール連盟が主催する、アジア王者を決めるクラブ戦です。従来の「アジアバレーボールクラブ選手権」からリブランディングされ、今大会が記念すべき日本での初開催となりました。

2025年5月10日～5月18日に、予選プールをパナソニックアリーナ(大阪府門真市)、決勝トーナメントを島津アリーナ京都(京都府京都市)にて参加12チームでの開催となりました。日本からは、サントリーサンバーズ大阪と大阪ブルテオンが代表として参加し、両チームとも予選を全勝で通過し、決勝トーナメントへ進出いたしました。

サントリーサンバーズ大阪は、クォーターファイナルを勝ち上がったものの、セミファイナルでアル・ラーヤン(カタール)に惜敗となりました。3位決定戦では、フーラード・シールジャーニ・イラニアン(イラン)と対戦し、3-0で勝利し、3位となりました。

大阪ブルテオンは、クォーターファイナル、セミファイナルを勝ち上がり、ファイナルに進出するも、アル・ラーヤンに0-3で敗退し、惜しくも準優勝となりました。しかしながら、年末開催予定の世界クラブチャンピオンシップ2025への出場権を獲得し、世界最高峰を目指してのチャレンジが続くこととなりました。

⑤ リクルートスタッフィング presents 大同生命 SV.LEAGUE AWARDS 2024-25

2025年5月8日、2024-25シーズンの活躍や功績を讃える、SV.LEAGUE初となるAWARDSを開催しました。ドレスアップをした表彰者が会場に集い、SV.LEAGUE初年度を象徴する華やかなセレモニーとなりました。

(4) 広報／プロモーション活動

① 記者会見

2024-25SV.LEAGUEの開幕を控えた、2024年9月30日に開幕記者会見を東京都港区のTOKYO NODEにおいて、開催いたしました。SV.LEAGUE WOMEN および MEN 参戦の全クラブ(メッセージVTR出演含む)男女計24選手が参加し、会見を通じて大会の魅力と意気込みをPRしました。

② プロモーション活動

ハイキュー!!とのコラボレーション

SV.LEAGUEの開幕を記念し、人気バレーボール漫画「ハイキュー!!」の作者・古舘春一先生描き下ろしのキャラクターを活用したキービジュアルを制作しました。また、MUFG SV.LEAGUE ALL STAR GAMES 2024-25 ISHIKAWAでは、同アニメをモチーフとしたユニフォームを選手が着用し、コラボグッズも販売しました。

公式 SNS【X、Instagram、YouTube、TikTok、LINE】

SV.LEAGUEの立ち上げに伴い、XとInstagramの公式アカウントを新たに開設しました。

また、YouTubeとTikTokについては従来のアカウントを引き継ぎ、さらなるファンベースの拡大を図ってい

ます。タイムリーな試合結果やニュースの発信のみならず、各クラブや選手とも連携したさまざまな企画やキャンペーンを展開することでフォロワー数を伸ばさせました。

2025年5月1日時点の各公式 SNS のフォロワーは X(旧 Twitter)/ 57,605 名、Instagram/ 93,000 名、YouTube/133,938 名、TikTok/22,000 名となりました。

チケットVの導入

2023-24 シーズンまで 10 シーズンにわたり、チケットのサービスを提供してまいりました「V リーグチケット」のサービスの提供終了に伴い、2024-25 シーズンより新たに「チケットV」をローンチいたしました。

これまで各クラブが異なるチケットサービスを採用していましたが、リーグで統一することで、チケット購入者は会員登録が一度で完結し、全試合の空席情報がサイト内で確認できるようになりました。また、各クラブで保有していたマーケティングデータをリーグが集約して各クラブに配布する体制を構築しました。

このデータを元に各クラブが様々な施策に活用できるようになっています。昨年までの V リーグチケットの累計登録者数 166,933 名を大幅に更新し、現在登録者数は 28 万人を突破しています。

VOLLEYBALL CARD COLLECTION (V コレ)

2022-23 シーズンより、公式カードコレクションサービスとして運営している「VOLLEYBALL CARD COLLECTION (V コレ)」も3シーズン目を迎え、更にパワーアップして展開いたしました。

SV.LEAGUE の選手の試合の様子をデジタルカードにした「V コレ」は、カードを収集するだけでなく、ミッションをクリアしてランキングを競い合うゲーム性も装備。また試合に来場したファンには来場特典を付与することで、各会場での集客にも貢献しています。

③ 映像配信

J SPORTS オンデマンドでの全試合配信

株式会社ジェイ・スポーツ(J SPORTS)とオフィシャルブロードキャスティングパートナー契約を締結。2024-25 シーズンの SV.LEAGUE の男女全試合が、J SPORTS オンデマンドに加え、J SPORTS が展開する「Amazon Prime Video J SPORTS チャンネル」や「ABEMA de J SPORTS」でも生配信されました。

SV.LEAGUE の試合は、これまでスポーツ番組視聴者の主要層であった 30~40 歳代の男性だけでなく、20~30 歳代の女性にも幅広く視聴されています。

(5) 国際化活動

① 海外でのメディア配信

SV.LEAGUE はグローバルマーケットへの認知向上のため、世界的な映像制作・配信エージェンシーの Story10 と、グローバル配信ネットワークの構築と映像提供の連携を行うことを決定しました。

Story10 が配信した SV.LEAGUE の動画は、2024-25 シーズン終了までに放送とデジタル配信を通じて 93

のマーケットに到達。また 501 のメディアに取り上げられ、そのうち 65 媒体と 35 マーケットは、放送配信によるものでした。

放送による露出はタイと中国で最も多く、アメリカ、カナダ、イギリスでもインプレッションを獲得しています。

また、海外向けのウェブサイトや SNS のインプレッションは計 400 万回を記録しました。これらのメディア露出全体で、792,000 ドルの広告換算価値 (AVE) に相当すると評価されています。

SV.LEAGUE では「世界最高峰のリーグを目指す」のビジョンの達成に、今後も国際コミュニケーションの実施が必要だと考えています。

② Volleyball World とのパートナーシップ契約締結

世界バレーボール連盟 (FIVB) の事業会社である、Volleyball World (VW) と、日本国外への長期的な放送・配信パートナーシップの契約を締結しました。VW は世界クラブ選手権大会やバレーボールネーションズリーグなどの国際大会を主催し、世界のトップリーグやアジアバレーボール連盟ともパートナーシップ契約を結んでいます。また、VW が運営するバレーボール専門 OTT サービス「VBTV」は、世界で 150 万人以上の会員を有しています。我々のこのパートナー契約も国際的な認知拡大に大きく貢献すると考えています。

③ タイ向けコンテンツの配信等

タイの視聴者向けに、タイの大手スポーツメディア、SIAMSPORTS と提携。同社の SNS などを通じ、合計再生数は想定値を大きく超える約 141 万回再生となりました。

また、SV.LEAGUE もタイ向けの Instagram と TikTok アカウントを創設。タイのインフルエンサーによる選手インタビューなど、タイ向けのコンテンツを多く提供。それぞれ 36,000 フォロワー、10,000 フォロワーを獲得しています。

更に、2024 年 9 月バンコクにおいて、JAPAN VOLLEYBALL ASIA TOUR IN THAILAND 2024 「Panasonic ENERGY CUP」を、大阪ブルテオンとタイ王国バレーボール協会の協力により、行いました。開催にあたっては、ファンミーティングなども実施し、現地ファンと多くの交流を持ちました

④ 韓国バレーボール連盟 (KOVO) との提携

国際戦略の一環として、韓国のプロバレーボールリーグを運営する韓国バレーボール連盟 (KOVO) との提携を締結しました。この提携は SV.LEAGUE にとって、初の海外リーグとの協力関係になります。

両リーグ間での選手やコーチの移籍の活性化、ノウハウの共有、定期的な交流について合意され、これは両リーグの競技力の向上やリーグの発展・活性化に寄与すると考えています。また、協力を深化させることで、アジア全体のバレーボール競技力向上に向けた重要なステップになるとも考えています。

(6) 社会貢献活動

① 大同生命保険株式会社様支社と近隣クラブの地域連携活動

タイトルパートナーの大同生命保険株式会社様では、各クラブと支社が連携をして、さまざまな地域活動を行いました。小学生バレーボール大会への協賛や、シンポジウムの開催、クラブ OG によるバレーボール教室といった、スポーツ体験の場の提供など、多彩な視点から、さまざまな地域連携のアイデアが生まれ、多くの方々のご協力のもと、初年度から多くの活動を行っています。

② 日本骨髄バンク支援活動

SV.LEAGUE は「骨髄バンク」の理解促進や普及活動を支援しています。

2024-25 大同生命 SV.LEAGUE CHAMPIONSHIP Finals (男女決勝戦) では、骨髄バンクの「#つなげプロジェクトオレンジ」の一環として、骨髄バンクの活動を日頃から応援してくださっている方々を対象に、特別観戦席「#つなげプロジェクトオレンジシート」への招待を行いました。

③ MUFG SV.LEAGUE ALL STAR GAMES 2024-25 ISHIKAWA

SV.LEAGUE となって初めてのオールスターゲームは「能登とともに。」をスローガンとし、能登の被災地支援を目的に行われました。イベントの収益は被災地支援のために寄付されました。また石川県への義援金に加え、県内の小中学校へオールスターゲーム公式試合球を寄贈しました。

会場では地元の子供たちを対象に、出場選手によるバレーボール教室や募金活動などを開催。また現地に足を運べなかった方へのオンラインでの募金活動やチャリティオークションも行いました。

④ 最優秀社会貢献クラブ賞の授与

SV.LEAGUE ではクラブライセンスの基準として、バレーボール教室や生涯スポーツプログラムの提供など、地域コミュニティとの連携を掲げています。2024年4月～2025年3月における地域貢献活動レポートから、地域貢献活動の内容及び実施回数、チームからの参加人数、地域からの参加人数の評価項目から、実行委員による投票により、最優秀社会連携クラブ賞を決定しています。

初の受賞クラブとして、WOMEN:岡山シーガルズ、MEN:ウルフドッグス名古屋が、選出されました。

(7) 普及活動

明日夢(みらい)プロジェクト

SV.LEAGUE は、プリンシパルパートナーの株式会社リクルートスタッフィング様のご協賛のもと、「明日夢(みらい)プロジェクト」講師による小学生を対象としたバレーボール教室を全国10箇所で開催したほか、全国各地にて同様に小学生を対象としたバレーボール教室を実施しました。

(8) 研修会・委員会活動

① 若手研修会

今年度の若手研修会は国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)にて実施し、計100



名の選手が参加しました。内容は SV.LEAGUE への理解とインタビュー及びSNS利用、コンプライアンス研修等を行いました。

開催日時： 2025 年 6 月 3 日 6 月 4 日

開催方式： 実開催

出席対象者： 入社 1 年目の選手

② 2024-25 SV.LEAGUE キックオフミーティング

キックオフミーティングを KFC Hall and Rooms(東京都墨田区)にて開催、新たにスタートする SV.LEAGUE の大会運営に関する説明を行いました。参加クラブの実行委員の参加のもと対面方式での開催となりました。

開催日時： 2024 年 7 月 18 日 13:00～17:00

開催方式： 対面方式

出席対象者： クラブ実行委員

③ JURY 会議

JURY が一堂に会し、2024-25 V.LEAGUE の運用の確認を行いました。

開催日時： 2024 年 8 月 12 日 14:30～17:00

開催方式： 近畿大学(大阪府東大阪市)での実開催

出席対象者： JURY

④ レフェリークリニック

2024-25 大同生命 SV.LEAGUE に関わる運用の重要事項を確認するレフェリークリニックを開催しました。

開催日時： 2024 年 8 月 13 日 10:00～17:00

開催方式： 近畿大学記念会館(大阪府東大阪市)での実開催と WEB 会議によるハイブリッド方式

出席対象者： JURY、レフェリー、クラブヘッドコーチ、都道府県バレーボール協会審判委員長

⑤ 各種委員会活動

委員会は、理事・チーム代表・事務局・外部有識者などが委員となり、研究内容・方向性・一定の結論などを理事会・チェアマンに報告、答申する役割を担っています。

主要な委員会として「実行委員会」、「裁定委員会」、「法務委員会」、「規律委員会」、「役員指名報酬委員会」などがあり、活動を行いました。

(9) 助成金



独立行政法人日本スポーツ振興センターより、我が国における国際競技力の向上を期すための国の助成金制度「競技強化支援事業助成金(国庫基金)」(2003年度～)および「スポーツ振興くじ助成金」(2011年度～)の交付を受けています。今年度については、「競技強化支援事業助成金(国庫基金)」で20百万円の交付を受け、マネジメント機能強化、研修会やSV.LEAGUEの活性化に活用しました。

今後とも制度の主旨に沿った有効活用を心がけ、改善改革に努め、組織基盤の強化を図り、バレーボール界の普及・発展に邁進してまいります。

(10) 協賛金

SV.LEAGUEとしてのスタートにあたり、タイトルパートナーとして大同生命保険株式会社様、プリンシパルパートナーとして株式会社リクルートスタッフィング様、そしてトップパートナーとして株式会社三菱UFJ銀行様をはじめとする多くの企業から多くの協賛をいただくことができました。協賛いただきました各企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

結果として協賛金は前年度比で、10倍を超える大幅な増となりましたが、今後も継続的に、SV.LEAGUEをさらに発展、運営していくためには、協賛いただけるより一層の企業の獲得が必須であり、そのためにもリーグの価値向上に向けて最大限努力して参る所存です。

社員の皆様におかれましても、SV.LEAGUE並びに日本バレーボール界の発展のため、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



3. 社員一覧

*社員名は 2025年 6 月 30 日現在 (順不同)

| | 名称 | 入会年月日 |
|----|------------------------|-----------|
| 1 | プレステージ・インターナショナル株式会社 | 2024年7月1日 |
| 2 | 株式会社デンソー | 2024年7月1日 |
| 3 | Astemo株式会社 | 2024年7月1日 |
| 4 | 一般社団法人グリーンウイングスGUNMA | 2024年7月1日 |
| 5 | 株式会社埼玉上尾メディックス | 2024年7月1日 |
| 6 | 日本電気株式会社 | 2024年7月1日 |
| 7 | 一般社団法人KUROBE アクアフェアリーズ | 2024年7月1日 |
| 8 | PFU ライフエージェンシー株式会社 | 2024年7月1日 |
| 9 | トヨタ車体株式会社 | 2024年7月1日 |
| 10 | 東レアローズ株式会社 | 2024年7月1日 |
| 11 | 日本たばこ産業株式会社 | 2024年7月1日 |
| 12 | 株式会社姫路ヴィクトリーナ | 2024年7月1日 |
| 13 | 岡山シーガルズ株式会社 | 2024年7月1日 |
| 14 | SAGA久光スプリングス株式会社 | 2024年7月1日 |
| 15 | 株式会社VOREAS | 2024年7月1日 |
| 16 | 株式会社グレートベアーズ | 2024年7月1日 |
| 17 | 株式会社VC長野クリエイトスポーツ | 2024年7月1日 |
| 18 | 株式会社ジェイテクト | 2024年7月1日 |
| 19 | TG SPORTS株式会社 | 2024年7月1日 |
| 20 | パナソニックスポーツ株式会社 | 2024年7月1日 |
| 21 | サントリーホールディングス株式会社 | 2024年7月1日 |
| 22 | 株式会社ブレイザーズスポーツクラブ | 2024年7月1日 |



4. 役員一覧

2025年6月30日現在

| | | |
|-----------------|--------------------|--|
| 代表理事 (チェアマン) | おおかわ まさあき 大河 正明 | 第18期 理事副会長、第19期 業務執行理事 一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ 代表理事 CEO |
| 業務執行 理 事 | えがわ つよし 江川 剛司 | 株式会社仙台 89ERS 取締役 経営企画室長 霞ヶ関キャピタル株式会社 財務本部事業開発部顧問 |
| 理 事 | あらかき えりか 荒木 絵里香 | トヨタ車体株式会社 チームコーディネーター |
| 理 事 | かながわ ゆういち 金川 裕一 | 公益財団法人日本バレーボール協会 副会長 株式会社エル・ティー・エス 取締役会長 |
| 理 事 | かりや ふしお 刈屋 富士雄 | 株式会社立飛ホールディングス 執行役員 |
| 理 事 | くぼ たけし 久保田 剛 | パナソニックスポーツ株式会社 代表取締役社長執行役員 CEO |
| 理 事 | すぎやま あけみ 杉山 明美 | 第16期～第19期理事 株式会社クリスタル・SUGIYAMA AKEMI 代表取締役 |
| 理 事 | たかた ほるな 高田 春奈 | 株式会社エスプリングホールディングス 代表取締役社長 |
| 理 事 | たまがみ しんいち 玉上 進一 | 株式会社 プレスステージインターナショナル 代表取締役 |
| 監 事 | なかむら かつみ 中村 克己 | 国広総合法律事務所 パートナー弁護士 |
| 監 事 | やの なほこ 矢野 奈保子 | 矢野公認会計事務所 代表 公認会計士 |